



新たな一歩～夢をもつこと～

校長 安部 貴史

あけましておめでとうございます。穏やかに年が始まったように感じております。本年も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が始まりました。そして、三学期の始まりです。三学期は、学年のまとめとなります。学年で身に付けてきた力を確認し、次に頑張ることを見定めるときです。今年、巳年です。へびが脱皮することから「新しい自分に生まれ変わる。」「幸せな未来をつかむ。」という意味もあるそうです。子どもたちの成長への準備ができるように教職員一同力を尽くしてまいります。

さて、12月にソフトバンクホークスの近藤選手のお父様のお話をお聞きする機会がありました。近藤選手は、昨シーズン首位打者となり MVP も受賞した野球選手です。近藤選手のお父様は、中学校の教員を経て現在は、ジュニアの育成に取り組まれている方です。

そのお話の中で、お父様が近藤選手に、「(調子の)よかったときの打ち方をそのまま続ければ、もっと打てるようになるのではないか。」と話したとき、近藤選手は、もっとうまくなりたいから、変えていくということをお答えしたそうです。近藤選手の夢は「もっと(野球が)うまくなる」ことなのだそうです。「うまくなる。」ことには、限りはありません。また、夢を遠くに置いている訳でもありません。夢は、自分の目の前にある夢中になれることが大切だというお話でした。

自分が取り組むことに真摯に向き合うことで人は、成長します。新しい年、次の学年に向かって、まず目の前のことに向き合い、力を尽くしていけることが大切です。

三学期は、学年の学習のまとめとなる学習発表会があります。「なりたい自分」に向かっていけるよう、気持ちも新たに教職員一同、力を尽くしてまいります。保護者、地域の皆様には、改めて本年もよろしくお願い申し上げます。

【三学期のはじめに】

休業明けは、生活のリズムを戻すこと、気持ちを整えることが難しいこともあります。このような時期、不安な気持ちになることもあります。

学期はじめ、学校でも生活のリズムを整えていくこととともに、子どもたちの様子を見ていきますが、ご家庭でもご留意ください。

何か、心配なことがある場合には、担任、SC等、相談しやすいところにご相談ください。

【学期のはじめにご確認ください】

<登下校>

通学路は、守れていますでしょうか。慣れてきたからこそ、少し道を外れることもあります。安全面からもお子様と改めて通学路をご確認ください。

なお、登校は、8時15分～25分の間を目安にしてください。8時25分からは朝の会が始まりますので、この時間のなかで余裕がもてるようにしてください。

<欠席の連絡等>

原則として、8時30分までに tetoru にて連絡ください。確認できない場合は、安全確認のためにご家庭に連絡させていただきます。なお、どうしてもという場合には、電話で結構です。

※お子様が体調を崩したりケガをしたりした場合等、保護者の方にご連絡します。お忙しいとは、存じますが、連絡がつながるようにご協力ください。

<遅刻・早退の場合>

遅刻・早退をする場合は、保護者の方が教室(職員室)まで付き添って送り迎えをお願いします。

<持ち物>

学校の活動に必要な物を持たせてください。なお、以下のことは、ご注意ください。

持ち物への記名(ご確認ください) 子どもが扱えるもの(安全性、耐久性等)

学習への集中を妨げないもの(学習以外のことに興味がいきやすい物は、避けてください)

※活動の中で破損などの可能性はあることもご承知おきください。

【1月の目標 等】

<生活の目標>

「規則正しい生活をしよう」

生活のリズムを整えて、健康で気持ちよく生活できるようにしましょう。

みんなで気持ちよく生活するために気を付けることを考えましょう。

<保健の目標>

「かぜを予防しよう」

生活のリズムを整えることや手洗いや換気に気を付けて感染症の予防をしましょう。

<給食の目標>

「楽しい話題で仲良く食べましょう」

気持ちよく食べることができるよう、食べ方や、そのときの話題をお互いに考えましょう。

【合唱団 優秀賞】

TBS こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会 12月28日(土)

夏の大会を経て優秀校による発表会があり、本校の合唱団は、優秀賞となりました。

朝や放課後、土曜日の練習をがんばってきたみんなの歌声が響きました。

【笑顔と学びの体験活動プロジェクト】

東京都教育委員会による児童の体験活動の充実を通して豊かな心を育成するための事業です。本校では、今年度、全校による観劇を以下の通り行います。

日時：2025年1月14日(火) 5校時

内容：影絵劇 「影絵劇団 かしの樹」による「あらしのよるに」

オオカミとヤギがあらしの夜を共に過ごす中での交流を通じた心のつながりのお話です。知っている児童もいると思いますが、児童が考える機会となればと思います。